

110th 愛知淑徳学園
創立110周年記念祝典・コンサート



2000席以上の大ホールに、在校生・在学生、同窓生、教職員、後援会の方々などが集まりました。

特集

創立110周年記念 祝典コンサート

8月23日、「愛知淑徳学園創立110周年記念祝典・コンサート」を日本特殊陶業市民会館フォレストホールにて執り行いました。学園創立110周年、大学開学40周年を迎えた節目の年。華やかな音色とともに、歴史と未来への思いが響き合いました。

明日への決意を、
美しい音楽に込めて。

「生徒・学生が光り輝ける学園、卒業生に誇りをもって母校と呼んでもらえる学園、地域社会に信頼される学園をめざして、愛知淑徳らしく『伝統は、たちどまらない』の姿勢を貫くことにより、一歩一歩誠実に歩んでまいります」小林素文理事長の力強い言葉とともに、幕を開けた記念祝典・コンサート。その決意を表し、明日へと響かせるかのように、美しく、ダイナミックなハーモニがホールいっぱいに広がりました。演目は、創立100周年を記念してつくられた「愛知淑徳学園祝典序曲」、ガーシュウィン「ラプソディ・イン・ブルー」、チャイコフスキー「交響曲第5番 ホ短調 作品64」。日本のジャズ界を代表するピアニスト・小曽根真氏、新進気鋭の指揮者・川瀬賢太郎氏が率いる名古屋フィルハーモニー交響楽団、そして愛知淑徳中学・高等学校・大学のオーケストラ有志が共演を果たしました。

「祝う会」も開催し、
晴れやかな笑顔が咲く。

未来へとたくましく歩んでほしいとの願いがあふれる、躍動的なメロディー。クラシックとジャズが融合した、心を揺さぶるセッション。困難に打ち勝つ本学園の伝統精神「淑徳魂」を想起させる、勝利のシンフォニー……。感動的な音楽が次々と奏でられた約2時間はあつという間に過ぎ、鳴り止まない拍手に包まれてアンコール。オーケストラ有志の生徒・学生たちも笑顔浮かべ、コンサートの晴れやかな締めくくりとして校歌や大学歌を演奏しました。



開会の挨拶として、深い感謝の念と喜びの気持ち、次代への決意を語った小林素文理事長。

記念事業・記念行事

新学部「グローバル・コミュニケーション学部」誕生

エコアピール整備事業

記念誌の発行

物故者追悼会

学部・研究科等の 110周年記念講演等について

文学部

NPO《地球のステージ》公演 10/16(金)
※開催済

人間情報学部

バンコクでのサステナブルモビリティの取り組み 11/11(水)
13:30~15:00

心理学部

考えてみよう「人・社会・環境」
～ 高校生のための心理学セミナー ～ 12/5(土)
13:30~15:30

メディアプロデュース学部

「風景の再構成にむけて」
Passive Architecture & Active Landscape with Nature 11/23(月・祝)
18:00~20:00

健康医療科学部

第1部 セーブ・ザ・チルドレンによる講演
「世界の子どもの健康を考える」 11/1(日)
12:00~15:00
第2部 弦楽四重奏によるチャリティー
コンサート「人魚姫」

福祉貢献学部

光と影の遊びの継承
～ 自然環境と暮らしを見つめ直す ～ 10/17(土)
※開催済

交流文化学部

青い目をした台娘・セーラが淑徳にやってきた!
～ サステナブルな地域循環型社会を目指して ～ 11/18(水)
17:00~18:00

ビジネス学部

東海地区のものづくりを切り拓く
環境技術(仮) 12/7(月)
13:30~15:00

文化創造研究科

文化創造と環境・エコ 7/25(土)
※開催済

教育学研究科

2015ながくて
サイエンスフェスティバル 1/23(土)
10:00~15:00

心理医療科学研究科

記念植樹(セレモニー実施) 秋頃

グローバルカルチャー・コミュニケーション研究科

環境分野における日本NGO活動 12/9(月)
15:10~16:40

ビジネス研究科

東海地区のものづくりを切り拓く
環境技術(仮) 12/7(月)
13:30~15:00

コミュニティ・コラボレーションセンター(CCC)

「コラボメッセ ― 地域とともに改
めて歩む ―」 10/10(土)
※開催済

中学校

「100人の村、あなたもここに生
きています。」 12/16(水)
10:00~12:00

高等学校

110周年記念
姜尚中氏講演会 11/19(木)
13:15~15:00

内容等変更場合があります。
詳細につきましては、本学HPでお知らせします。

interview



名古屋
フィルハーモニー
交響楽団
井上 京さん(右)
井上 絹代さん(左)

愛知淑徳高等学校
2015年3月卒業
(名古屋大学 1年)
井上 梓さん(中央)

記念祝典・コンサートの舞台で、 本学園卒業生の親子共演が実現しました。

「私たちは名古屋フィルハーモニー交響楽団の一員として、10年前の創立100周年記念コンサートに出演しました。今回、創立110周年記念祝典・コンサートでも演奏し、しかも娘と共演できるなんて、10年前には想像もしていませんでした」。笑顔で語ってくださった井上京さん、絹代さんはそれぞれクラリネット、バイオリンの奏者です。おふたりの愛娘である梓さんは愛知淑徳中学・高等学校で学び、彼女もまた音楽に熱中。6年間、管弦楽部でクラリネットを担当

しました。「毎日、仲間と一緒に勉強や部活、学校行事に全力を注ぎ、自主性ややり抜く力、“淑徳魂”を身につけました」と充実した学園生活を振り返った梓さん。OGとしてオーケストラ有志に参加し、ご両親と同じ舞台に立って、母校の記念すべき年を音楽で祝福しました。そして井上さんご家族は「愛知淑徳がこれからも健全な教育をめざし、生徒・学生一人ひとりの個性や力を豊かに伸ばしていくことを願っています」と本学園の未来に期待を寄せました。



名古屋フィルハーモニー交響楽団の方々が来校し、直接指導をくださったおかげで、オーケストラ有志の生徒・学生たちも堂々と演奏。

続いて、会場をANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋に移し、「愛知淑徳学園創立110周年を祝う会」を開催しました。教職員や同窓生、後援会の方々などが祝杯を上げ、会場のいたるところに笑顔の輪が広がっていました。歓談の時間に合わせ、50年前に制作された創立60周年記念映像や、現在の生徒・学生のいきいきとした姿を記録した創立



学園関係者340人以上が参加した「祝う会」。
110年の学園の歩み、その尊さを改めて感じる場となりました。

110周年記念映像を上映。学園が積み重ねてきた輝く日々を共に振り返り、愛おしむひとときになりました。色彩豊かな音とともに、学園関係者一人ひとりの思いも共鳴し、大きく広がっていった記念祝典・コンサートと祝う会。新たな門出として、10年先、20年先への希望や期待感に満ちていました。